

季刊文教施設

facility of
education,
science, sports,
culture and
technology

92
2023 秋号

施設を通して教育・文化を考える専門情報誌



大分市立碩田学園(大分県)

事例紹介

「新しい時代の学びを実現する学校施設」に関する事例紹介

大分市立碩田学園(大分県)／ドルトン東京学園 中等部・高等部(東京都)

山武市立松尾小学校(千葉県)／伊勢市立二見浦小学校・二見中学校(三重県)

東北工業大学 八木山キャンパス 実験・教育棟「Tech-Lab (てくらぼ)」(宮城県)

特集

これからの学校施設の教育環境向上を図る改修等を考える

「学校施設の教育環境向上を図る改修等に関する課題解決事例集～既存学校施設を活用したこれからの学びの環境づくり～」

長寿命化改修は新しい学校を創るということ

「オープンスクール」と「エコスクール」で、豊かな教育環境を実現する

Interview | 学校建築計画を牽引する設計事務所に聞く 株式会社 総企画設計

特別寄稿 | 熊本県下における大正昭和戦前期の鉄筋コンクリート造小学校校舎

Topics | 令和5年度 第1回「学校施設づくり研究会」を開催



9年間の「かけがえのない学びと体験の場」として 子どもたちの可能性を引き出す教育環境を創造する

1. 計画の背景と経緯

碩田学園は、「大分市立小中学校適正配置基本計画」を受けて、地域住民の代表者や保護者、学校関係者等で「碩田中学校区適正配置地域協議会」を構成して議論を重ね、その報告を基に、子どもたちにとってより良い教育環境を創造することを目的として、大分市の中心部の荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校、碩田中学校の4校が統合し手出来た、大分県内初の義務教育学校である。



分かれ、校舎が建つ敷地と大グラウンド主体の敷地で構成されるため、道路を挟んで2つの敷地を児童生徒が安全に移動できるように地上6.7mの連絡橋で結び、子どもたちが常にストレスなく活動できる計画とした。また、津波浸水地域である周辺地域の津波避難ビルになることも考慮して、2階レベルをメインフロアとして昇降口や玄関、職員室、アリーナを設ける計画とした。

2. 設計コンセプト

小中一貫9年間の学びの場として校舎の中心に多様な交流が展開できるスペースを集中して設け、小1から中3までの児童生徒が日常的に交流して、みんなが集い、共に学び、遊び、生活し、みんなが高め合い、共に創造する場となる環境を整備した。

- 新設校の設計コンセプトとして、
- ①つながりを大切にする学び舎づくり
- ②多様な学習を創造する学び舎づくり
- ③安心・安全な学び舎づくり

この3つを基本方針として、子どもたちの可能性を引き出す、より良い教育環境を創造することを主眼に据えて今回の計画に取り組んだ。

日常的な交流の場となる空間をつくる



表現の舞台 (2階)

新たな学びと交流の場をつくる

アトリウムに面して全学年が利用する教室を配置して、お互いの雰囲気や活動の様子が感じられ、新たな学びと交流の空間となることを目指した。

2階には、主体的で深い学びと気づきの学習拠点となるメディアルーム（図書室+パソコン室）や、交流ラウンジ、大小アリーナを配置、3階には教科交流ホールのある芸術メディアゾーン（音楽、美術、図工）、ランチルームなどを配置した。



メディアルーム (2階)
芸術メディアカルホール (3階)

学年を超えた交流の場をつくる

3階の校舎中央部分には、アトリウムの吹抜けと南側外部テラスに連続したランチルームを設けた。学年単位や異学年での食事が可能な広さを確保して食を通じて日常的に交流ができる環境とした。また、隣接した調理室と一体的な活用や多目的教室として、外部テラスと一緒に多様な利用が可能な計画としている。



外部テラス (3階)

ランチルーム (3階)

地域との交流の場をつくる

地域に開かれた学校づくり、地域との交流を推進する為に1階には児童育成・地域連携・PTA室・通級学級を外部から利用しやすい位置に設置して、地域の人々と共に働いた新たな学びの環境を創出した。

5. 9年間の学びに応じた環境をつくる

座スペースのあるゆとりの1,2年生教室

1,2年生は教室での授業が主となるため、教室内に座スペース、書架、各種作業や手洗いのための流し台を設けた。また、児童と教師が日常的に一体感をもてる

ように専用の教師コーナーを教室に設置した。

学年ごとのオープンスペースのある3～7年生教室

学年単位で廊下に連続したオープンスペースを設け、学習、活動に活用できるように、教室は4枚引きの引戸として、フルオープン形式の授業が可能なようにした。オープンスペースには、学年単位の教師の拠点として教材庫を隣接したオープンカウンターの教師ステーションを設けた。

個別・グループ学習へ対応しやすい8,9年生教室

受験を間近に控えた後期学年の教室は、クローズドタイプを基本とした計画とした。オープンスペースは、教



北西側外観



屋内プール（1階）



大アリーナ（2階）

室以外での、個別またはグループ学習、談話の場として、学習スペースとして活用がしやすい計画とした。



1, 2年生教室（2階）



多目的教室（4・5階）



3～7年生教室（3～5階）



オープンスペース（3～6階）



アトリウム（2階）



図工室（3階）



普通教室（5階）



美術室（3階）



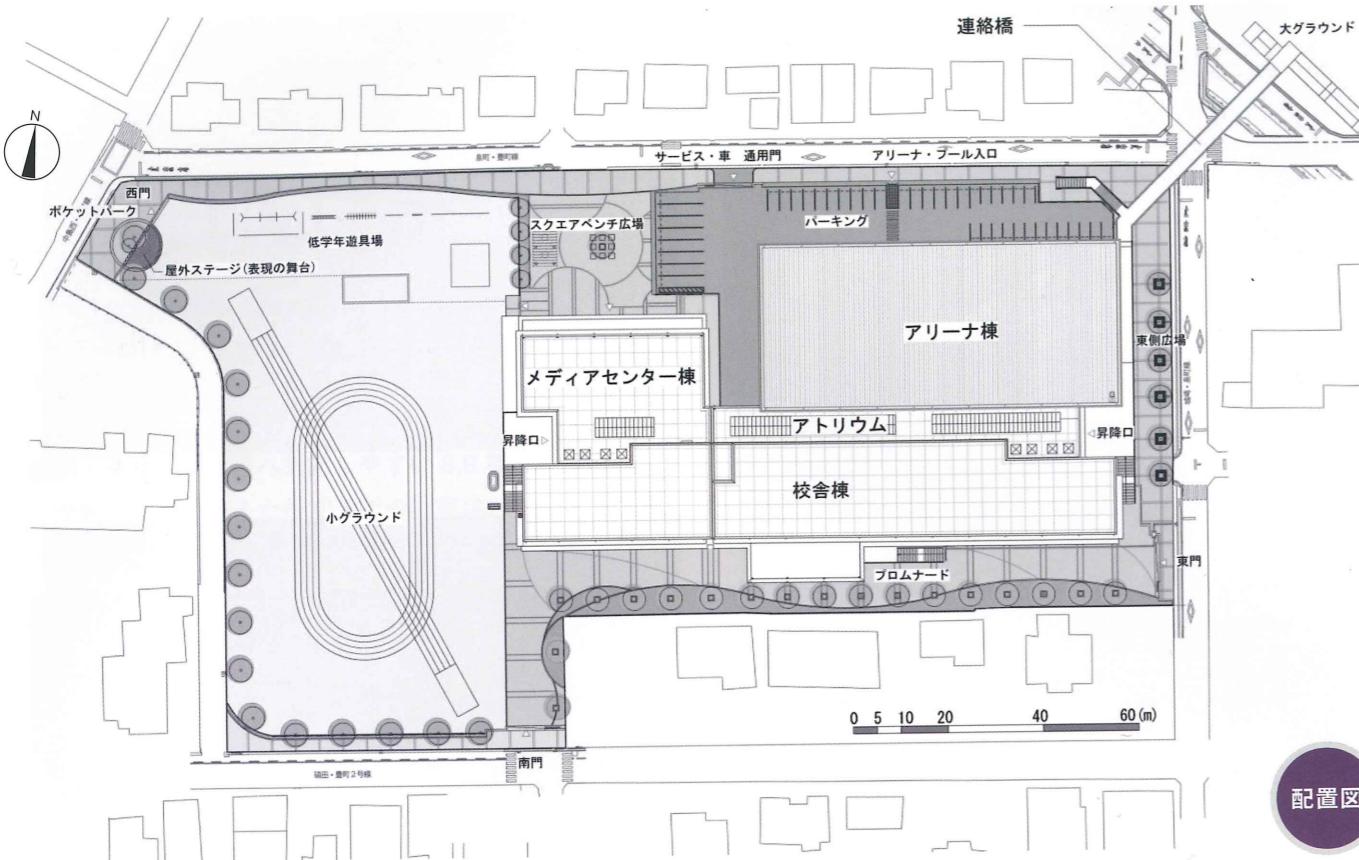
オープンスペース（5階）



多目的室（6階）

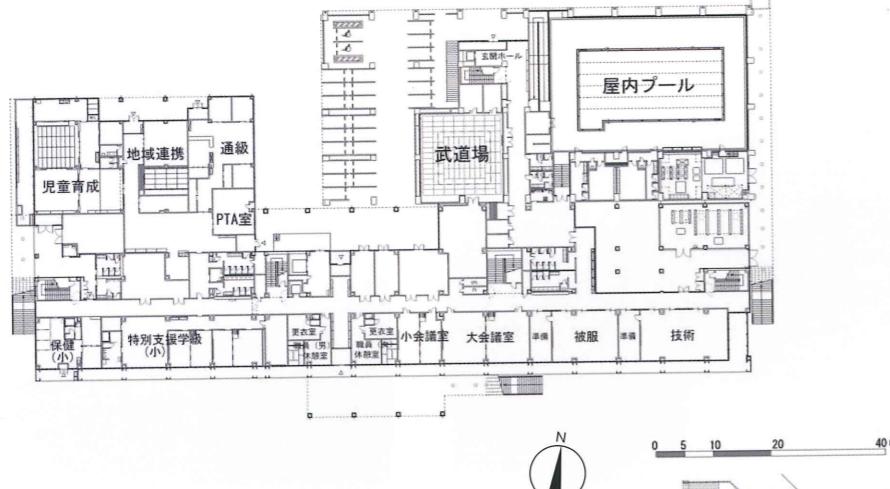


理科室（6階）

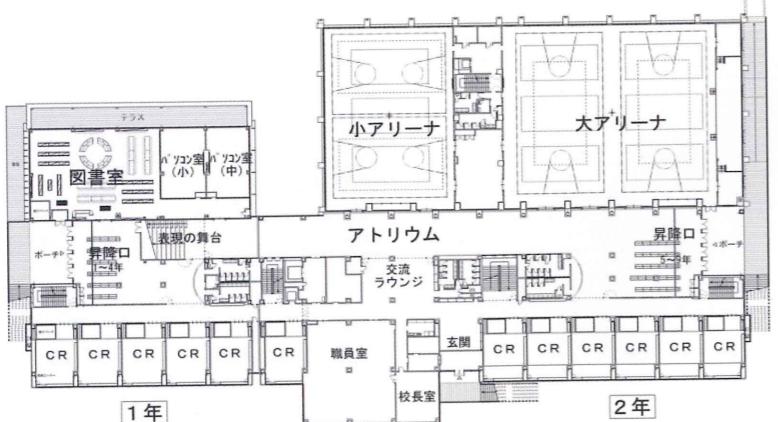


配置図

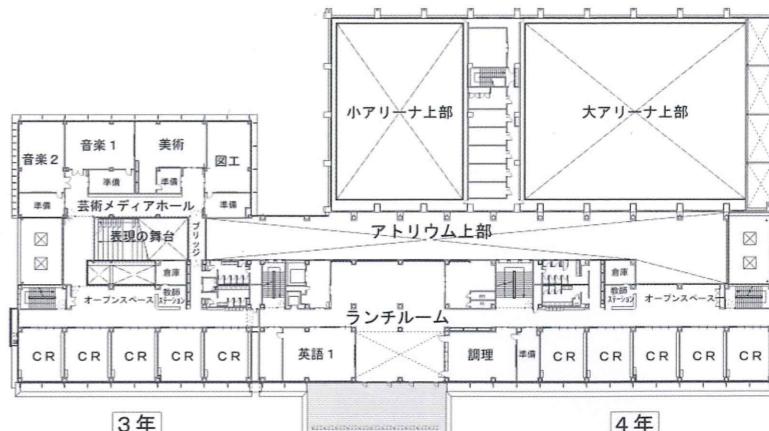
1F
平面図



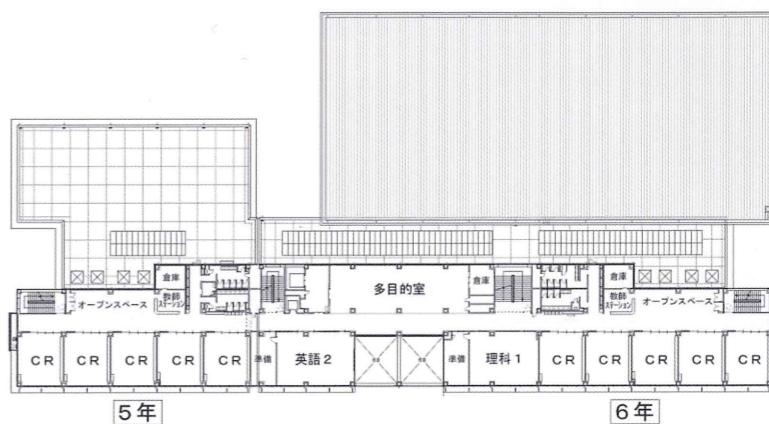
2F
平面図



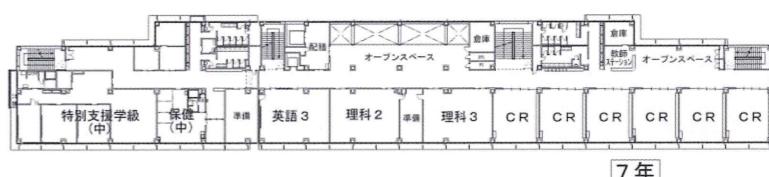
3F
平面図



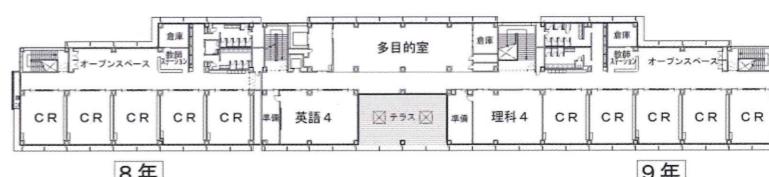
4F
平面図



5F
平面図



6F
平面図



施設概要

施設概要

名称: 大分市立碩田学園

所在地: 大分市碩田町2丁目5番60号

用途地域: 第2種中高層住居専用地域

建ぺい率: 35.46% (許容60%)

容積率: 112.76% (許容200%)

敷地面積: 20,912.68m² (碩田学園校舎側)

延べ床面積: 校舎棟 18,618.71m²

アリーナ棟 4,964.45m²

構造形式 / 階数: 校舎棟: S造 6階

アリーナ棟: R C造 3階設計

期間: 2014年5月～2015年3月

工事期間: 2015年9月～2017年2月

設計: (株) 総企画設計 (意匠: 総企画設計)

構造: 大有設計 (設備: 環境システム設計)

監理: 東九州設計工務(株)

施工:

建築主体工事: 梅林・後藤・セキ・朝来野特定建設工事共同企業体

電気設備工事: 河野電気・玄武電設・南部電気工事特定建設工事共同企業体

空調設備工事: 鬼塚産業・日本暖房鉄工・ニッショード特定建設工事共同企業体

給排水衛生設備工事: 但馬設備工業・ハザマ設備・鶴友産業特定建設工事共同企業体

主な外部仕上げ

屋根: 校舎棟 屋根保護防水密着断熱工法

(AI-1)、アリーナ棟 円筒葺長尺屋根

外壁: 押出成形セメント板、コンクリート打放し + 防水形複層塗材E、二丁掛磁器質タイル

開口部: アルミ製サッシ

主な内部仕上げ

天井: 校舎棟 化粧PB、アリーナ棟 複合板

壁: 校舎棟 シナ合板(腰壁) 揭示クロス、

アリーナ棟 有孔シナ合板

床: 校舎棟 フローリング、

アリーナ棟 鋼製床組+大型積層フローリング